



第1表 エネルギーの使用量

1. 貨物輸送事業者のエネルギーの使用量

エネルギーの種類		単位	使用量	
			年度	連携省エネルギー措置を踏まえた エネルギー使用量 熱量 GJ
			連携省エネルギー措置を 踏まえたエネルギー使用量	
化石燃料	揮発油	k l		
	連携分	k l		
	ジェット燃料油	k l		
	連携分	k l		
	軽油	k l		
	連携分	k l		
	A重油	k l		
	連携分	k l		
	B・C重油	k l		
	連携分	k l		
	液化石油ガス (LPG)	t		
	連携分	t		
	液化天然ガス (LNG)	t		
	連携分	t		
	石炭 ( )	t		
	連携分	t		
	都市ガス (CNGを含む。)	千 m <sup>3</sup>		
	連携分	千 m <sup>3</sup>		
その他 ( )				
連携分				
化石燃料小計 (原油換算 k l)				
連携分				
化石燃料小計 (GJ)				
連携分				
非化石燃料	バイオエタノール	k l		
	連携分	k l		
	バイオディーゼル	k l		
	連携分	k l		
	SAF	k l		
	連携分	k l		
	水素	t		
	連携分	t		
	アンモニア	t		
	連携分	t		
	その他 ( )	( )		
	連携分	( )		
非化石燃料小計 (原油換算 k l)				
連携分				
非化石燃料小計 (GJ)				
連携分				

電気	買電	化石由来	電気事業者からの買電	千kWh		
			連携分	千kWh		
			その他（上記以外の買電）	千kWh		
		非化石由来	連携分	千kWh		
			電気事業者からの買電	千kWh		
			その他（上記以外の買電）	千kWh		
	自家発電	非燃料由来	太陽光	千kWh		
			連携分	千kWh		
			風力	千kWh		
			連携分	千kWh		
			地熱	千kWh		
			連携分	千kWh		
			水力	千kWh		
			連携分	千kWh		
		燃料由来	その他（ ）	千kWh		
			連携分	千kWh		
			化石由来	千kWh		(※)
			連携分	千kWh		(※)
			非化石由来	千kWh		(※)
			連携分	千kWh		(※)
	その他（ ）		千kWh			
	連携分		千kWh			
	電気小計（原油換算k l）					
連携分						
電気小計（GJ）						
連携分						
合計GJ						
連携分						
原油換算k l						①
連携分						
前年度原油換算k l						
連携分						
対前年度比（%）						
連携分						

- 備考 1 「買電」については、一般送配電事業者（電気事業法（昭和39年法律第170号）第2条第1項第9号に規定する一般送配電事業者をいう。）が維持し、及び運用する電線路を介して供給された電気をいう。
- 2 熱量の算出に当たっては、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）で定める換算係数を使用すること。
- 3 (※)に記入する熱量換算値は、電気の量1千キロワット時を熱量8.64ギガジュールとして換算した値を用いること。また、この熱量換算値は小計及び合計に含めないこと。



第3表 貨物ごとに当該貨物の重量に当該貨物を輸送する距離を乗じて得られる量を算定し、当該貨物ごとに算定した量を合算して得られる量及びエネルギーの使用量

1. 貨物ごとに当該貨物の重量に当該貨物を輸送する距離を乗じて得られる量を算定し、当該貨物ごとに算定した量を合算して得られる量

	年度	対前年度比 (%)
貨物ごとに当該貨物の重量に当該貨物を輸送する距離を乗じて得られる量を算定し、当該貨物ごとに算定した量を合算して得られる量(連携省エネルギー措置を踏まえたもの)	㊦	

2. エネルギーの使用量

	年度	対前年度比 (%)
連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギーの使用量(原油換算 k 1)	㊦	

第4表 エネルギー消費原単位及び電気需要最適化評価原単位

1. エネルギー消費原単位

	年度	対前年度比 (%)
連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギー消費原単位 = $\frac{\text{非化石燃料の補正及び連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギーの使用量 (原油換算 k 1)} \quad (㊦ \cdot 1)}{\text{貨物ごとに当該貨物の重量に当該貨物を輸送する距離を乗じて得られる量を算定し、当該貨物ごとに算定した量を合算して得られる量 (連携省エネルギー措置を踏まえたもの)} \quad ㊦}$		

備考 「非化石燃料の補正及び連携エネルギー措置を踏まえたエネルギーの使用量 (㊦・1)」は、㊦の非化石燃料に対して、法第5条第1項に規定する判断の基準で定める補正係数をそれぞれ乗じたエネルギー使用量を記入すること。

2. 電気需要最適化評価原単位

	年度	対前年度比 (%)
連携省エネルギー措置を踏まえた電気需要最適化評価原単位 = $\frac{\text{電気需要最適化、非化石燃料の補正及び連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギーの使用量 (原油換算 k 1)} \quad (㊦ \cdot 1')}{\text{貨物ごとに当該貨物の重量に当該貨物を輸送する距離を乗じて得られる量を算定し、当該貨物ごとに算定した量を合算して得られる量 (連携省エネルギー措置を踏まえたもの)} \quad ㊦}$		

備考 「電気需要最適化、非化石燃料の補正及び連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギーの使用量 (㊦・1')」は、㊦の非化石燃料に対して、法第5条第1項に規定する判断の基準で定める補正係数をそれぞれ乗じ、同判断の基準で定める月別電気需要最適化係数又は時間帯別電気需要最適化係数を考慮したエネルギー使用量を記入すること。

第5表 過去5年度間のエネルギー消費原単位及び電気需要最適化評価原単位の変化状況

1. エネルギー消費原単位

	年度	年度	年度	年度	年度	5年度間 平均原単位変化
連携省エネルギー 措置を踏まえたエ ネルギー消費原単 位						
前年度比 (%)		Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	

2. 電気需要最適化評価原単位

電気使用量の集計区分			<input type="checkbox"/> 月別 <input type="checkbox"/> 時間別			
	年度	年度	年度	年度	年度	5年度間 平均原単位変化
連携省エネルギー 措置を踏まえた電 気需要最適化評価 原単位						
前年度比 (%)		Ⓐ'	Ⓑ'	Ⓒ'	Ⓓ'	

第6表 その他貨客輸送連携省エネルギー措置に関して実施した措置

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

措 置 の 概 要

2. 電気の需要の最適化に資する措置に関する事項

措 置 の 概 要

[備考]

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 報告書冒頭の※印を付した欄は記入しないこと。
- 3 報告書冒頭の特定排出者番号の欄には、環境大臣及び経済産業大臣が定めるところにより付された番号を記載すること。
- 4 報告書冒頭の事業者名の欄の右の欄には、事業者の行う事業に係る日本標準産業分類に掲げる細分類の番号を記載すること。
- 5 第 1 表の 1 及び 2 (3) の使用量の欄には、エネルギーの種類ごとに固有単位での値と熱量換算した値を記入すること。
- 6 第 1 表の 1 の使用していない種類のエネルギーの欄は、省略することができる。
- 7 第 1 表の 1 の「その他のエネルギー」の欄には、上欄にないエネルギーの種類を( )内に記入し、その使用量を記入すること。複数の種類を記入するときは、新たに欄を設けて記入すること。
- 8 第 1 表の 1 及び 2 (3) のうち G J (ギガジュール) を単位として記入するものについては、必要に応じ、単位を T J (テラジュール)、P J (ペタジュール) にかえて記入することができる。
- 9 第 1 表の 1、第 3 表の 1 及び 2 並びに第 4 表の 1 及び 2 の上段の欄には、当該年度を記入すること。また、各表の「対前年度比」の欄には、前年度に提出した定期報告書において記載した値 (第 3 表の 1 及び 2 並びに第 4 表の 1 及び 2 については、前年度値は原則として当該年度値の算定に使用した計算式により算定した値) を用いて算出し、記入すること。算出方法は、以下のとおり。

$$\text{対前年度比}(\%) = \frac{\text{当該年度値}}{\text{前年度値}} \times 100(\%)$$

- 10 第 4 表の 1 の「エネルギー消費原単位」とは、貨物ごとに当該貨物の重量に当該貨物を輸送する距離を乗じて得られる量を算定し、当該貨物ごとに算定した量を合算して得られる量の単位当たりのエネルギー消費量をいう。
- 11 第 4 表の 2 の「電気需要最適化評価原単位」とは、電気の需要の最適化に資する措置を評価した電気の使用に係る原単位をいう。
- 12 第 5 表の 1 及び 2 の上段の欄には、当該年度を含む直近 5 年間の年度を記入すること。また、同表の 1 の「エネルギー消費原単位」及び「対前年度比」の欄並びに同表の 2 の「電気需要最適化評価原単位」及び「対前年度比」の欄には、原則として当該年度値の算定に使用した計算式により算定した値を記入すること。
- 13 第 5 表の 1 及び 2 の「5 年度間平均原単位変化」の欄には、エネルギー消費原単位及び電気需要最適化評価原単位の過去 5 年度間の対前年度比をそれぞれ乗じた値の 4 乗根となる値を記入すること。算出方法は、以下の通り。

(1) エネルギー消費原単位

$$5 \text{ 年度間平均原単位変化}(\%) = (\text{A} \times \text{B} \times \text{C} \times \text{D})^{1/4}(\%)$$

(2) 電気需要最適化評価原単位

$$5 \text{ 年度間平均原単位変化}(\%) = (\text{A}' \times \text{B}' \times \text{C}' \times \text{D}')^{1/4}(\%)$$